



印西市地域福祉計画策定に向けた
地域懇談会
【プログラム】



<目次>

1 プログラム	2
2 地域福祉とは	3
3 地域懇談会の目的	5
4 地域懇談会の進め方	6
おわりに	10

1 プログラム

1. 開会	地域懇談会のスタートです。
2. あいさつ (2分)	始まりにあたってごあいさついたします。
3. オリエンテーション (10分)	○地域福祉とは ○地域懇談会の目的、進め方
4. 地域懇談会 (50分)	①各テーブルのテーマに沿って、意見を出し合いましょう。 ②各テーブルのテーマに対するアイデアや意見のうち、話し合いながら重点的に取り組むべきことを考えましょう。 ③各テーブルより発表しましょう。
5. おわりに (2分)	事務局よりごあいさついたします。
6. 閉会	地域懇談会の終了です。

※会議時間はおよそ 1 時間程度を予定しています。

進行状況により時間が延長する場合がございますのでご了承ください。



2 地域福祉とは

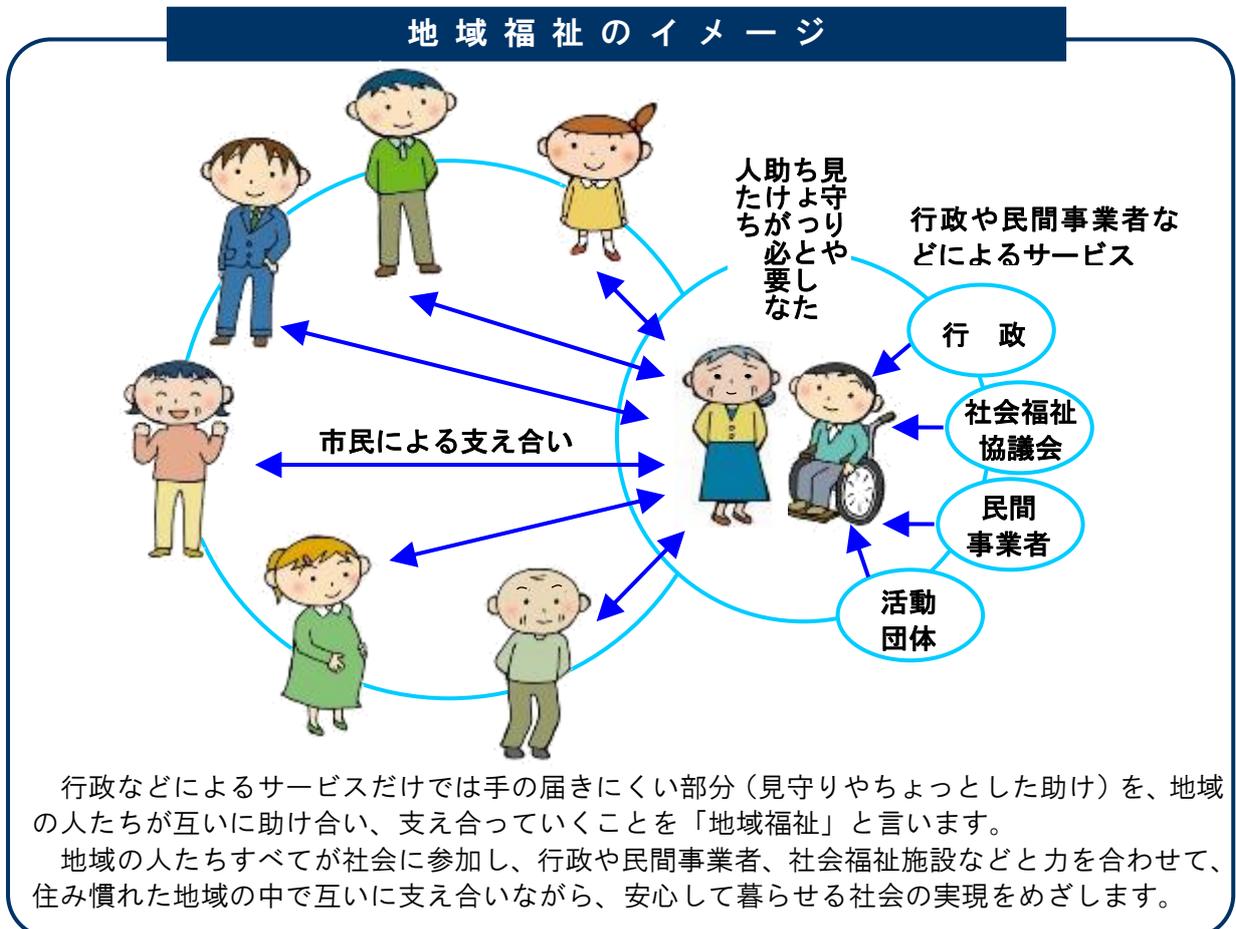
(1) 地域福祉とは？

「地域福祉」とは不安や不便、問題を地域の中で解決し、「**住みなれた地域でみんなが安心して暮らせるよう、市民が主役で進める取り組み**」のことを言います。

「福祉」という言葉からは、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉などといった対象者ごとにわかれた「行政などによるサービスの提供」という「福祉」を思いつくのではないのでしょうか？

しかし、地域で安心して生活していくためには、そのような特定の人を含む、地域に住むすべての人が生活しやすい地域社会をつくる必要があります。そのためには、行政などによるサービスの提供だけではなく、**地域の人たちがお互いに助け合い、支え合うことが大切です。**

特に、人間関係の希薄化が進む今、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、「助け合い」「支え合い」の関係・仕組みをつくることが、求められてきています。



(2) 地域福祉計画とは？

印西市では、平成 19 年 3 月に「印西市地域福祉計画」を市民参加などによる市民と行政の協働によって策定し、地域福祉活動の充実に努めてきました。

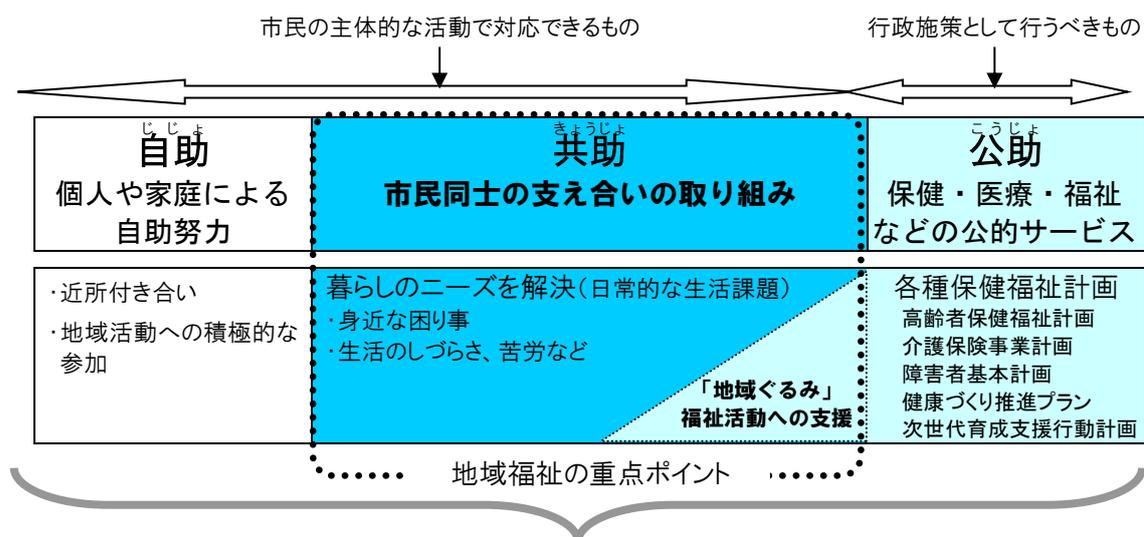
計画は平成 19 年からスタートし、現在は平成 29 年度～令和 2 年度まで計画である第 3 次計画のもと、地域福祉に取り組んでいます。

今回は、第 4 次の計画として、令和 3～7 年度までの計画を策定します。

策定にあたっては昨年、市民を対象としたアンケート調査を実施しています。

(3) 「自助」「共助」「公助」の考え方

地域福祉計画では、市民・福祉関係団体・社会福祉協議会・行政などが、それぞれの役割の中で、お互いに力を合わせる関係をつくり、「自助」「共助」「公助」を重層的に組み合わせた「地域ぐるみの福祉」の推進が重要となります。



地域福祉計画



3 地域懇談会の目的

(1) 目的

地域福祉は、行政が取り組むことはもちろんですが、市民のみなさんが主体となって活動することが重要となります。

そこで、地域で実際に活動されている市民のみなさんには、日頃の活動から感じられている地域の現状や課題を念頭においていただきながら、**課題に対する解決策のアイデア**を出し合っていたいただきたいと思います。そのアイデアを次期計画の中に盛り込むことで、今後の実践へとつなげ、広げていくための機会とします。

(2) 約束事

- ワークショップは、限られた時間内で行います。そのためより多くの人の意見が出るようまた聞くことができるように配慮してください。
一人で話を独占してしまう、また、一言もしゃべらなかつたということがないようにご協力をお願い致します。
- ワークショップは討論会ではありません。**出された意見の批判はしないでください。**意見については、どのような背景があつてそのような意見になっているのか、発言者の立場になつて考えてみるという事が大切です。
楽しい雰囲気になるようにお互いに心がけましょう。



4 地域懇談会の進め方

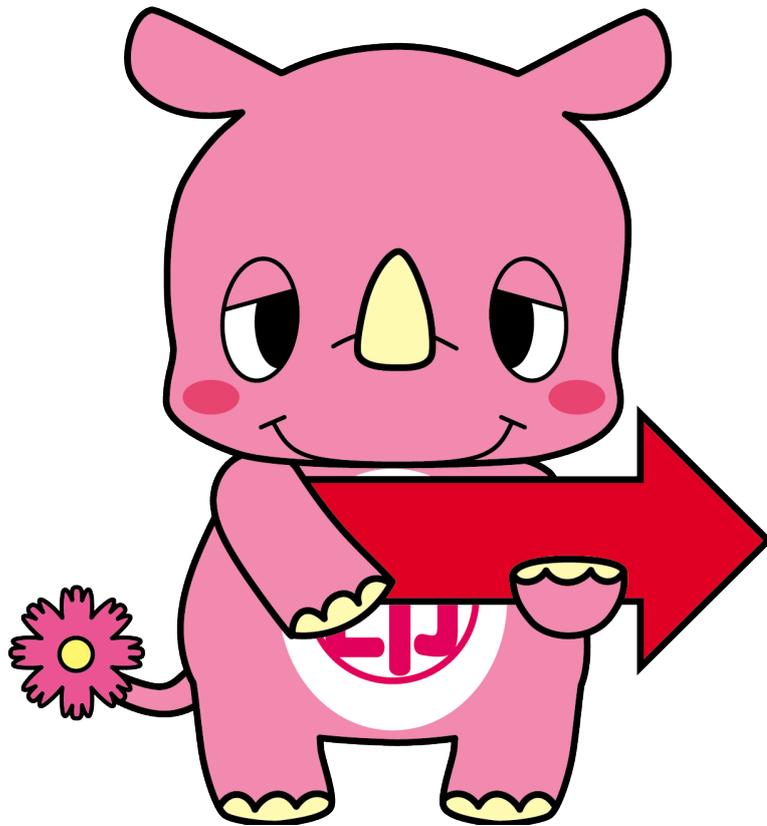
【スタートです!】

●そのテーブル内の「リーダー」役を決めましょう。

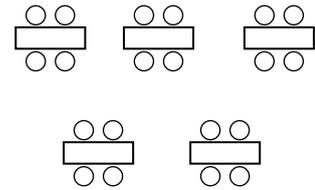
「リーダー」役の方は、テーブル内の進行役として、メンバーのアイデアや意見を**分類・整理**をします。

そのほかのみなさんも、フセンに書いたり、分類・整理を手伝っていただくなど、協力し合って進めましょう。

●各テーブルにはそれぞれ「テーマ」が設定されています。



【第 1 ラウンド】(約 15 分)



- テーブルで印象に残ったアイデアや意見、重点的に取り組むべきことなどをフセンに書きましょう。

各テーブルのテーマに対して、地域の現状や課題をふまえて、解決のためのアイデアや、地域のよいところ・伸ばしたいところを話し合いながら、テーブルの上の模造紙の上に書き出していきます。

みなさまが日頃、活動をしたり、生活する中で、感じている地域の現状や課題、地域のよいところ・伸ばしたいところを話し合ってみましょう。

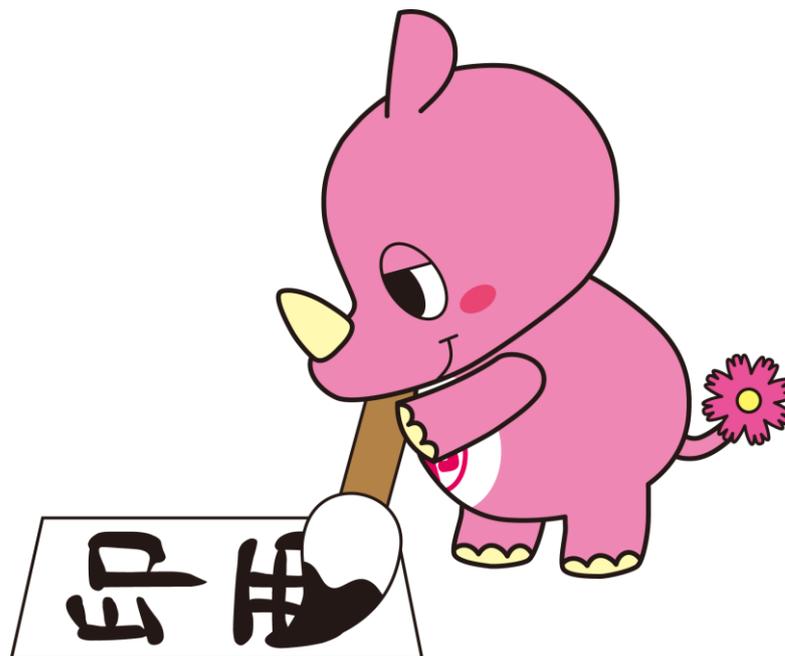
地域の現状や課題、アイデアや意見、重点的に取り組むべきことなどを、話し合いながら、フセンに書き出していきます。

■ 記入例

・町会の行事に隣近所同士が誘い合って坂する。

・お互いに声をかけあって、顔見知りになる。

- ◆ 必ず、1枚のフセンに1つの意見を記入してください。
- ◆ フセンは何枚書いていただいてもかまいません。
- ◆ 他の人と同じ意見が出てかまいません。同じ意見の数が多いほど、重要度が高いと言えます。
- ◆ 書いたフセンはこのあと読み上げて模造紙に貼り付けていただくので、手元に持っておいてください。



【第 2 ラウンド】(約 15 分)

●フセンの内容を読み上げて共有しながら、模造紙に貼りましょう。

ある程度書き溜めたところで、フセンの内容について、読み上げながら、模造紙に貼りつけていきましょう。

同じような分野のことは選り分けて分類しましょう。分類したフセンのまとまりごとに、マジックペンで囲っていきます。さらに、そのまとまりごとにどういった分野のことか見出しをつけましょう。

ほかの人の話を聞いて、あとから思いついたことがありましたら、フセンを新たに書いて、足していただいても結構です。

- ◆同じような分野のことは選り分けて貼り付けましょう。
- ◆分類したフセンのまとまりごとに、マジックペンを使って囲いましょう。
- ◆まとまりごとにどういった分野のことか見出しをつけましょう。
- ◆あとから思いついたことはフセンに書き出して模造紙に貼りましょう。

書いたフセンを読み上げるなどして、みんなと共有しながら、模造紙に貼りつけていき、同じようなものは選り分けて分類します。

テーマ① 高齢者・障害者・生活困窮者など、身近な地域にいる「支援が必要な方」に
何ができるか？／何が必要か？

地域コミュニティ □ □ □ □	行政からの支援 □ □ □ □ □
生活環境 □ □ □ □ □	防災 □ □
道路・交通 □ □ □ □	独居高齢者 □ □ □
	子育て支援 □ □ □ □ □
	担い手 □ □ □ □ □
	障害者 □ □ □ □ □
	自治会 □ □ □ □ □

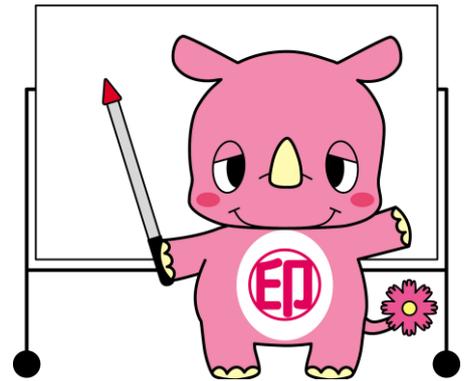


【発表準備】(約5~10分)

●みなさんで協力して発表内容を整理しましょう。

テーブル内で出た意見の中で、地域の現状や課題、解決のアイデアや意見、さらにはこの地域で重点的に取り組んでいくべきことなど、特に多く出た意見などを中心に何を発表するか話し合ひましょう。発表時間はおよそ3分程度が目安です。

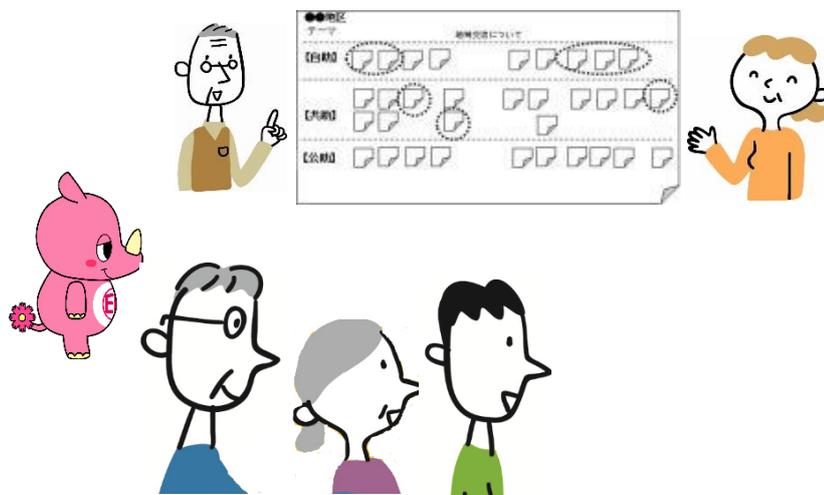
また、だれが代表として発表するか決めましょう。おひとりでも、複数名でも結構です。



【各テーブル発表】(1テーブル・約3分)

●テーブルで話し合ったことを発表しましょう！

準備が整ったら各テーブルからの発表を行います。



以上で地域懇談会は終了です！



